

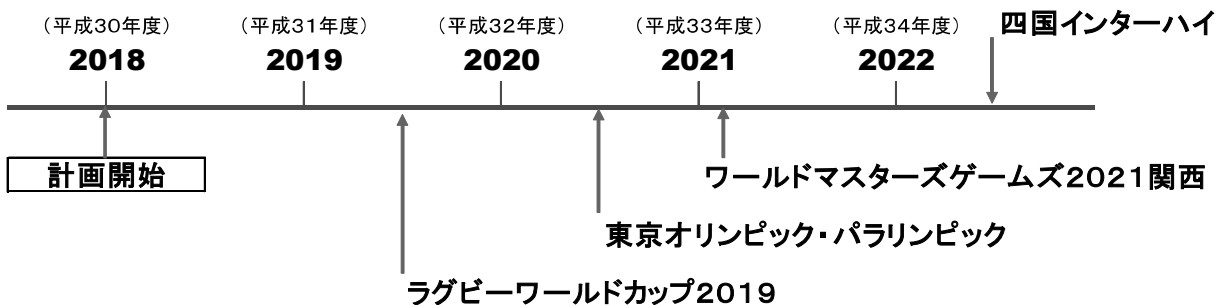
「徳島県スポーツ推進計画」中間取りまとめ案 ～スポーツで創る！とくしまレガシー～

1. 趣 旨

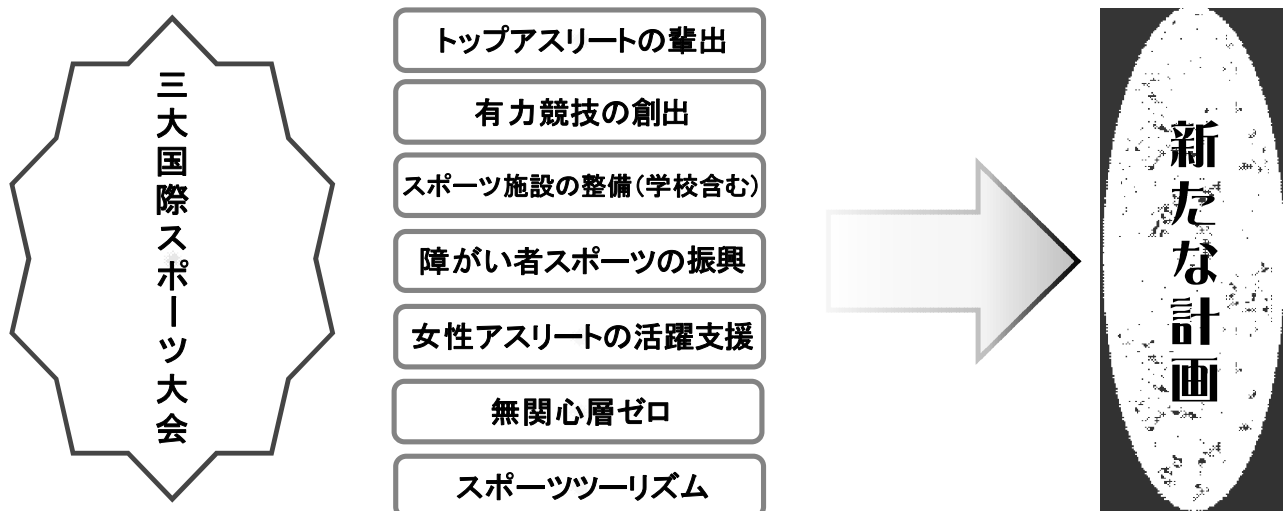
「徳島県スポーツ憲章」に基づく4つの基本目標により、本県スポーツ推進の基本的な方向性を示す「徳島県スポーツ推進計画」を平成25年3月に策定し、スポーツに関する施策の総合的な推進に努めてきたところ、目前に迫った3大国際スポーツ大会を契機として、本県スポーツ環境を大きく変革させ、スポーツレガシーを創出し、「スポーツ王国とくしま」への歩みを更に進(深)化させるため、新たな計画を策定する。

2. 計画期間

平成30年度から平成34年度まで(5年間)



3. 計画の特徴(新たな視点)



4. 今後のスケジュール

10月	パブリックコメントの実施
11月	第3回徳島県スポーツ推進審議会にて答申
11月	11月議会総務委員会(事前)にて報告
3月	計画策定(予定)

計画(案)の施策体系

基本目標	方向性	新	具体的施策の例
トビ 世界にはばたく アスリートが育つ 輝くとくしま	県民の希望、誇りとなる トップアスリートの輩出	★ ★ ★	・競技力向上に向けた実効性のある推進体制の整備 ・オリンピック、パラリンピック、デフリンピックへの出場選手輩出 ・ジュニアトップ選手に対する支援による県外流出の阻止
	新たな有力競技の創出	★ ★	・「選択と集中」による選手の強化 ・有力選手を雇用する企業・大学部活動への支援の充実 ・ふるさと選手等の活用による優秀な指導者の確保・充実
	アスリートに対する サポート体制の充実	★ ★ ★	・女子選手特有の課題に対する医科学サポート ・アスレティックトレーナーの雇用による競技環境の向上 ・国体選手のメディカル・フィジカルチェック及びメンタルトレーニングの実施
子 運動好きで健やかな 子どもたちが育つ 元気なとくしま	運動の楽しさ、喜びを実感し 主体的に取り組む児童の育成	★ ★	・運動の苦手な児童に視点をおく授業の推進 ・総合型クラブを活用した子どもの運動習慣化・学校体育活動への参画 ・各小中学校の課題に応じた、体力向上への取組
	学校における 体育・スポーツ環境の整備	★ ★	・県立学校スポーツ施設のワンランク上の整備 ・競技団体等への一般開放による地域に根ざしたスポーツ拠点の創出 ・スポーツ拠点校・鳴門渦潮高校の施設・設備の活用の推進と機能強化
	活気あふれる 運動部活動の推進	★ ★ ★	・2022インターハイを見据え、学校の特色を生かした運動部活動の育成 ・運動部活動への入部率、大会参加率の向上策の推進 ・部活動指導員の効率的・効果的な活用
ス 生涯にわたって スポーツを楽しむ 豊かなとくしま	障がい者、高齢者、女性が スポーツに参加しやすい環境づくり	★ ★	・障がい者交流プラザの機能強化による障がい者スポーツの促進 ・WMG2021関西の開催を見据えた関西シニアマスターズ大会の開催 ・障がい者と健常者が共に参加できる大会の開催
	無関心層をゼロにする スポーツ習慣化	★ ★ ★	・サイクルスポーツによる徳島の魅力発信とサイクリングアイランド四国の実現 ・育児中の女性や働く人などへの運動習慣化メニューの提供 ・企業との連携協定に基づくアスリートの活用
	スポーツで地域を支える 基盤づくり	★ ★	・総合型クラブの自立運営の促進 ・通訳、ボランティア育成等による国際大会受入体制の充実 ・運動習慣の定着促進を目的としたウォーキングの習慣化
ス 親睦や交流の場として スポーツを楽しむ ふれあいとくしま	ソフト・ハード一体となった 環境整備による 新たなスポーツ聖地の創出	★ ★ ★	・3大国際スポーツ大会等を契機としたスポーツ施設・環境の整備 ・「四国の右下」にサーフィン、トライアスロン等、「にし阿波」にラフティング、ウェイクボードの聖地の創出 ・県西地域における健康防災公園の整備と利活用の促進
	文化・食と連携した スポーツツーリズムによる とくしまの魅力発信	★ ★	・3大国際スポーツ大会を活用したあわ文化の発信 ・GAP対応、オリパラ対応食材の世界に向けてのPR ・『南阿波アウトドア道場』冊子の多言語化による観光誘客
	新たなスポーツ交流を通じた 地域活力の醸成	★ ★	・キャンプ地誘致による世界トップレベル選手との交流の実現 ・関西WMGを見据えたランナーズファーストによる「とくしまマラソン」の開催 ・地元プロスポーツ選手と県民との交流機会の拡大